

令和 2 年 6 月 10 日現在

機関番号：32663

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2016～2019

課題番号：16K03490

研究課題名(和文)政界再編の政治史的考察

研究課題名(英文)A Political History of Party Realignment

研究代表者

薬師寺 克行(yakushiji, katsuyuki)

東洋大学・社会学部・教授

研究者番号：00611378

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,600,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、政治家や官僚などに行った取材メモ及び関連資料である薬師寺メモに基づき以下の点を分析した。第一は、自民党清和会において、福田赳夫を中心に党改革を主張してきた人脈が、「政治改革」の原動力になったことを明らかにした。第二に、80年代末における派閥の制度疲労の実態を明らかにした。第三に、武村正義を中心とする新党形成過程を明らかにした。第四に、安倍晋太郎外相の対外政策を分析した。清和会の人脈や組織の分析を通じて、政界再編期の自民党政治を重層的に見ることが可能になったといえよう。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の学術的意義としては、新聞記者の取材メモを中心に1980年代末の日本政治史を再構成することを目指した点にある。外交文書が豊富に残されている外交史研究とは異なり、戦後日本政治史については、一次史料の保存や公開が大きく遅れている。本研究は従来の経世会を中心にした自民党史観とは異なり、自民党清和会の人脈や組織の変容に着目することによって、90年代の自民党下野後に進展する政治改革の歴史的起源を明らかにした。

研究成果の概要(英文)：This study analyzed the following points based on the Yakushiji memorandum and materials. The first we revealed that the Liberal Democratic Party (LDP) faction (habatsu) Seiwa-kai, which had advocated party reform, led by Takeo Fukuda, was the driving force behind "political reform". Secondly, we revealed the reality of institutional fatigue among factions at the end of the 1980s. Third, we analyzed the process of formation of the new party, led by Masayoshi Takemura. Fourth, we analyzed the foreign policy of Japanese Foreign Minister Shintaro Abe. By analyzing the personal connections and organization of the Seiwa-kai, it is possible to look at the politics of the LDP during the period of political realignment from a multilayered perspective.

研究分野：政治学

キーワード：日本 政治 清和会 政治再編 派閥政治 安倍晋太郎 塩川正十郎 小泉純一郎

1. 研究開始当初の背景

1993年の自民党政権の下野から22年が経過し、「55年体制」末期の日本政治も漸く歴史研究の対象に入りつつある。1988年に発覚したリクルート事件を起点とする日本政治の変容を歴史的文脈に位置付ける研究は、政治家など当事者に対するオーラル・ヒストリーの発展を背景に着実に進展してきた。

しかし、同時代を政治史的に考察するには未だに分析上の課題を抱えている。第一は、信頼できる一次史料の不足である。外交文書に依拠できる外交史や国際関係史に比べて、政治史研究は関係者の日記や書翰などによる多角的分析が不可欠である。ところが、1980年代以降の政治史は史料的制約が強く、ジャーナリストや政治評論家によって同時代的に書かれた二次文献に依拠せざるをえないのが現状である。

第二に、政界再編に関するこれらの二次文献の多くも経世会を中心に描かれてきた。確かに自民党史を振り返る上で、自民党最大派閥である経世会の分裂が、政界再編の引き金となった点は論を俟たない。だが、一方で同時代に自民党の派閥政治を担っていた安倍派清和会や宮沢派宏池会の派閥の実態については殆ど解明されておらず、こうした経世会史観を是正する必要があるといえよう。

とりわけ、安倍晋太郎から三塚博へと継承された清和会は、派内に新党さきがけを率いた武村正義、石原慎太郎や党内「右派」を多く擁していた亀井グループ、小泉純一郎といった政界再編後に重要な役割を示す多くの人材が所属していた。これら清和会内部に存在した政治改革構想や派閥観を検証することなしに、90年代前半の政界再編の描くことには大きな限界があるといえよう。

2. 研究の目的

本研究は、1980年代末から1990年代前半の時期を対象に、政界再編の政治過程を自民党清和会の視点から描こうとするものである。具体的には、(1)政治改革への諸構想、(2)派閥政治の変容、という二つの分析視角を設定する。

第一に、政治改革への構想については、政治改革に対する様々な構想をめぐる清和会内部の意見対立を解明する。伝統的に清和会は、高度に組織化され鉄の結束を誇った経世会と異なり、イデオロギー的にも多様であり、自由闊達な雰囲気と尊重するサロンの色彩を残していた。

リクルート事件発覚後、従来型の派閥運営が徐々に困難になり、安倍が病に倒れるなかで、組織の維持を図ろうとする安倍晋太郎や三塚博に対して、長老の福田赳夫や、後に新党さきがけに連なる「ユートピア政治研究会」を発足させた武村正義などは政治改革に積極的な姿勢を示すようになる。本研究は、取材メモに残された当時の関係者の肉声を手がかりに、55年体制末期から、清和会内部に存在した多様な意見や政治構想を整理し、これらが政界再編後にどのような影響を及ぼしたかを検証する。

第二に、派閥政治の変容については、派閥衰退について「制度」の役割を重視してきた研究と異なる説明を目指す。従来の通説的理解では派閥の衰退は、リクルート事件後の政治不信の高まりのなかで、選挙制度が中選挙区制から小選挙区比例代表並立制に変更されたことで促進されたと説明されてきた。制度変化のインパクトを全面的に否定するものではないが、既に1980年代末の段階で政治資金の集金能力について各派閥にも格差が存在しており、組織としての派閥の形骸化がかなり進行していた事実を無視できない。従来の研究では組織が最も組織化され最

大の集金力を誇っていた経世会が、派閥の例として挙げられ他派閥の実態については未解明であった。本研究では、1980年代末からの清和会内部の集金システムや派閥運営の実態を詳細に検討することで、通説的理解とは異なる自民党派閥の変容に関する説明を試みる。

3. 研究の方法

本研究は、研究代表者（薬師寺）が朝日新聞政治部時代に蓄積した取材メモを整理すると同時に分析することで、政界再編期の政治史研究の基盤を構築することにある。

研究代表者は、1979年に朝日新聞社入社後、主に政治部を中心に、政治部次長、論説委員、月刊誌『論座』編集長、政治部長、編集委員を歴任した。その間、政治家や官僚などに行った取材メモ及び関連資料（以下、「薬師寺メモ」）を保管している。その分量はA4版のパイプ式ファイル215冊に及ぶ。本研究では、まずこの「薬師寺メモ」の電子化作業を行い、件名、対象者、関連人物、項目別に検索を可能とするデータベースを構築する。

本研究で主に分析の対象とするのは、主に研究代表者が政治部の清和会担当記者であった1989年から94年までのメモである。同記録には安倍晋太郎、安倍派幹部であった三塚博や塩川正十郎、小泉純一郎、武村正義の肉声が残されており、55年体制末期から政界再編期にかけての清和会内部の政治改革に対する議論や、政界再編に対する見通しなどが検証できる。またメモの内容を裏付けるために当時の清和会を知る関係者へのインタビューを実施し、当時の政治状況についての証言を得た。

4. 研究成果

本研究の成果としては、以下の点が挙げられる。まずアルバイト2名を用いて「薬師寺メモ」の目録化を完了した。メモや文書の総数は7300点となり、取材対象者、関連人名、関連項目の三点から検索が可能になるよう目録を作成した。メモの内容は1988年末の清和会関係者への聞き取りから始まり、1990年前後の日ソ関係、1993年の政界再編前後、さきがけ関係者へのインタビュー記録、2009年～12年の民主党政権関連など多岐に及んでいる。また外交当局者への取材メモも豊富である。

メモについてはプライバシー情報も含まれていること。2020年時点で、現役で活動している政治家・官僚などが含まれていること、現実の外交交渉への影響がありえる情報が含まれること、などの要因を考慮して、当面全面公開は行わず、研究目的で一定の条件を付けて開示する予定である。

本研究では整理を完了した「薬師寺メモ」を分析した結果、以下の三点を中心に新たな知見を得ることができた。

第一に、清和会における政治理念の展開である。1980年代末の清和会における「政治改革」の源流は、福田赳夫の下で進められた「党改革」に求めることができる。福田赳夫は1960年代に党風刷新運動を立ち上げ、自民党内で一貫して党近代化を唱えてきた。また岸信介と共に小選挙区制度の導入を主張するなど、90年代の「政治改革」の原型ともいえる政策的主張を行っていたことが注目される。福田は首相引退後、その軸足を、OBサミットを中心とする外交活動に移したが、政局においては、経世会を中心とする金権政治に反発し続けた。

こうしたなか、戦後最大規模の疑獄事件であるリクルート事件が発覚する。リクルート事件に

は、竹下首相に加えて、安倍晋太郎、宮澤喜一、中曽根康弘前首相など閣僚経験者や派閥領袖も含まれていた。この事件を契機に、自党内では当選回数のない若手・中堅議員を中心に、「政治改革」を求める声が高まり始めた。派閥を超えたグループが次々と発足し、往年の党風刷新連盟のように改革を求めたのである。竹下首相が辞任を発表すると、後継首班選びは難航し、一時は党長老による暫定政権案が有力となり、福田もまたその一人に擬せられた。

しかし、竹下後継に指名されたのは竹下政権の外相であった宇野宗佑であった。後継首班をめぐる竹下の方針は、長老にも若手にもあてはまらない中堅世代の宇野に一時政権を預けることで、経世会の権力を維持することであった。この竹下の強引な決定に反発した福田は、鈴木善幸元首相と共に宇野後継に難色を示す。鈴木は70年代から検討されてきた「総総分離案」を打ち出し、福田も党の「集団指導体制」を提案した。鈴木と福田は、党長老を中心に総裁代行を決め、彼らの調整によって後継首相を選ぶことで、自民党最高顧問制による調整機能を活性化させようとした。

リクルート事件に続く宇野政権の発足は、清和会内の不満を強めた。さらに宇野政権が短期間で退陣すると、党改革に留まらず政界全体の再編改革を求める声は、党内全体に広がり、「政治改革」は党を二分する大きなテーマとなった。本研究は、リクルート事件前後から宇野政権発足に至る、福田や安倍晋太郎、三塚博、森喜朗などの清和会内の動きを分析していくことで、党内力学的には劣勢でありながら、党改革を主張してきた清和会人脈が、「政治改革」の原動力になっていく過程を明らかにした。

第二は、清和会を中心とする派閥制度を分析し、1980年代末に進行していた制度疲労の実態を明らかにした。自党内の派閥は1970年代末から寡占化が進み、田中派一経世会の巨大化と並行して、他派閥でも高度な組織化が進められた。鈴木善幸政権以降の総主流派体制の下で、清和会の派閥運営も機関主義へと変化し、事務総長ポストが設けられ、制度化が進んだ。しかし、巨大化した派閥を維持するために必要な政治資金も莫大なものとなり、1980年代末の段階で組織維持の限界が近づきつつあった。

実際、清和会の領袖であった安倍晋太郎も1988年末の段階で「政治改革の具体案については一年生議員が会をつくって色々やっているが、われわれのに比べると随分金が係るようになってい。年間七千万とか一億円とかかかるがそんな金は派閥や党からは出せない」と述べている。本研究では、派閥維持のための資金調達が限界を迎え、派閥というシステムの制度疲労が、自党内における「政治改革」への大きな原動力になっていたことを明らかにした。

第三に、清和会に所属していた武村正義らによる「政治改革」への動きである。本研究は、武村ら「新党さきがけ」関係者へのインタビューの分析を通じて、清和会から自民党分裂による新党結成へと連なる過程を再検討した。武村が清和会に所属したのはイデオロギー的要因よりも人脈的要素が強かった。リクルート事件の最中でユートピア政治研究会を立ち上げ、政治改革についての検討を開始している。本研究では、「薬師寺メモ」にあるインタビュー記録の分析を基に、これまで公表された記録で詳細に語られていなかった清和会人脈や新党形成過程について再検討を行った。

第四に清和会の歴代政権の外交政策へと連なる安倍晋太郎外相期の対外政策の分析を行った。これらは当初の研究計画に含まれていなかったが、「薬師寺メモ」にある外交当局者へのヒアリング記録の分析を通じて、安倍外相時代の対ロシア政策・対北朝鮮政策の展開について分析を進めた。ソ連のゴルバチョフ政権の誕生とペレストロイカの開始は、長らく北方領土問題で停滞していた日本の対ソ外交にとって千載一遇の機会であった。安倍外相は対ソ外交の前進に意欲を示し、こうした動きは海部俊樹政権期まで継続した。また対北朝鮮政策においては、第十八富士

丸の乗組員拿捕事件を安倍外相時代に解決できなかったことから、安倍は武村正義に金丸訪朝団への参加を要請している。こうした安倍外相期の対露・対北朝鮮外交の問題関心と記憶は、後の清和会による歴代政権（とりわけ、森喜朗政権、安倍晋三政権）対外政策の起源になったといえる。

本研究は、以上に見るように、「薬師寺メモ」の分析を通じて、1980年代末から90年代初頭の政界再編期の自民党内の動きを、清和会を中心に分析した。こうした視点は、従来の後藤田正晴を中心とする政治改革の動きから、小沢一郎による自民党分裂に至る経緯を描いた「経世会史観」とは一線を画すものである。清和会の動きを中心に見ることによって、政界再編期の自民党政治を重層的に見ることが可能になったといえよう。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計93件（うち査読付論文 2件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 30件）

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 なし
2. 論文標題 今月の外交ニュースの読み方vol.25 日口領土問題がさっぱり動かない理由	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 「クーリエ・ジャポン」（電子版連載・ https://courrier.jp/news/tag/author-katsuyuki-yakushiji/ ）	6. 最初と最後の頁 1 - 1
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 なし
2. 論文標題 今月の外交ニュースの読み方vol.26 核をめぐる長期戦の幕開け 日本外務省も例外的組織改編へ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 「クーリエ・ジャポン」（電子版連載・ https://courrier.jp/news/tag/author-katsuyuki-yakushiji/ ）	6. 最初と最後の頁 1 - 1
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 なし
2. 論文標題 今月の外交ニュースの読み方vol.28 米朝合意で小躍りする韓国 核より緊張緩和を歓迎	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 「クーリエ・ジャポン」（電子版連載・ https://courrier.jp/news/tag/author-katsuyuki-yakushiji/ ）	6. 最初と最後の頁 1 - 1
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 なし
2. 論文標題 今月の外交ニュースの読み方vol.29 北朝鮮はなぜ「終戦宣言」にこだわるのか？	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 「クーリエ・ジャポン」（電子版連載・ https://courrier.jp/news/tag/author-katsuyuki-yakushiji/ ）	6. 最初と最後の頁 1 - 1
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 葉師寺克行	4. 巻 なし
2. 論文標題 今月の外交ニュースの読み方vol.30「離散家族」という南北の冷酷な現実	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 「クーリエ・ジャポン」(電子版連載・ https://courrier.jp/news/tag/author-katsuyuki-yakushiji/)	6. 最初と最後の頁 1-1
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 葉師寺克行	4. 巻 なし
2. 論文標題 今月の外交ニュースの読み方vol.31 トランプ大統領が様変わりさせてしまった「外交の季節」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 「クーリエ・ジャポン」(電子版連載・ https://courrier.jp/news/tag/author-katsuyuki-yakushiji/)	6. 最初と最後の頁 1-1
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 葉師寺克行	4. 巻 なし
2. 論文標題 今月の外交ニュースの読み方vol.33 北方領土交渉は安倍首相の現実主義の表れか。ロシアのメリットは?	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 「クーリエ・ジャポン」(電子版連載・ https://courrier.jp/news/tag/author-katsuyuki-yakushiji/)	6. 最初と最後の頁 1-1
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 葉師寺克行	4. 巻 なし
2. 論文標題 今月の外交ニュースの読み方vol.34 2019年の世界を展望する 戦後体制の揺らぎの年	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 「クーリエ・ジャポン」(電子版連載・ https://courrier.jp/news/tag/author-katsuyuki-yakushiji/)	6. 最初と最後の頁 1-1
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 なし
2. 論文標題 今月の外交ニュースの読み方vol.35「過剰反応」と「無視」が日韓改善の道を閉ざす	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 「クーリエ・ジャポン」(電子版連載・ https://courrier.jp/news/tag/author-katsuyuki-yakushiji/)	6. 最初と最後の頁 1 - 1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 なし
2. 論文標題 今月の外交ニュースの読み方vol.36北方領土2島返還論者の誤算 「日ソ共同宣言」をめぐる解釈の対立	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 「クーリエ・ジャポン」(電子版連載・ https://courrier.jp/news/tag/author-katsuyuki-yakushiji/)	6. 最初と最後の頁 1 - 1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 なし
2. 論文標題 南北合同チーム結成に見る文大統領の身勝手	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 「東洋経済オンライン」 (https://toyokeizai.net/list/author/%E8%96%AC%E5%B8%AB%E5%AF%BA+%E5%85%8B%E8%A1%8C)	6. 最初と最後の頁 1 - 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 なし
2. 論文標題 安倍首相の目指すものが「改革」から「革命」へ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 「東洋経済オンライン」 (https://toyokeizai.net/list/author/%E8%96%AC%E5%B8%AB%E5%AF%BA+%E5%85%8B%E8%A1%8C)	6. 最初と最後の頁 1 - 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 なし
2. 論文標題 民主主義は「権威主義の誘惑」を断ち切れるか	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 「東洋経済オンライン」 (https://toyokeizai.net/list/author/%E8%96%AC%E5%B8%AB%E5%AF%BA+%E5%85%8B%E8%A1%8C)	6. 最初と最後の頁 1 - 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 なし
2. 論文標題 米中関係はすでに大きな転機を迎えている	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 「東洋経済オンライン」 (https://toyokeizai.net/list/author/%E8%96%AC%E5%B8%AB%E5%AF%BA+%E5%85%8B%E8%A1%8C)	6. 最初と最後の頁 1 - 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 なし
2. 論文標題 北朝鮮問題、日米の微妙だが深刻なすれ違い	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 「東洋経済オンライン」 (https://toyokeizai.net/list/author/%E8%96%AC%E5%B8%AB%E5%AF%BA+%E5%85%8B%E8%A1%8C)	6. 最初と最後の頁 1 - 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 なし
2. 論文標題 米朝首脳会談、「情報機関が調整役」の危うさ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 「東洋経済オンライン」 (https://toyokeizai.net/list/author/%E8%96%AC%E5%B8%AB%E5%AF%BA+%E5%85%8B%E8%A1%8C)	6. 最初と最後の頁 1 - 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 なし
2. 論文標題 金正恩にはどうしても米朝首脳会談が必要だ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 「東洋経済オンライン」 (https://toyokeizai.net/list/author/%E8%96%AC%E5%B8%AB%E5%AF%BA+%E5%85%8B%E8%A1%8C)	6. 最初と最後の頁 1 - 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 なし
2. 論文標題 朝鮮半島は「擬似的平和状態」に突入していく	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 「東洋経済オンライン」 (https://toyokeizai.net/list/author/%E8%96%AC%E5%B8%AB%E5%AF%BA+%E5%85%8B%E8%A1%8C)	6. 最初と最後の頁 1 - 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 なし
2. 論文標題 したたかな金正恩が9月に仕掛ける2つの計画	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 「東洋経済オンライン」 (https://toyokeizai.net/list/author/%E8%96%AC%E5%B8%AB%E5%AF%BA+%E5%85%8B%E8%A1%8C)	6. 最初と最後の頁 1 - 4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 なし
2. 論文標題 参院「定数6増」より筋の悪い「特定枠」の正体	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 「東洋経済オンライン」 (https://toyokeizai.net/list/author/%E8%96%AC%E5%B8%AB%E5%AF%BA+%E5%85%8B%E8%A1%8C)	6. 最初と最後の頁 1 - 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 なし
2. 論文標題 プーチン発言騒動に見る脆弱すぎる日本外交	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 「東洋経済オンライン」 (https://toyokeizai.net/list/author/%E8%96%AC%E5%B8%AB%E5%AF%BA+%E5%85%8B%E8%A1%8C)	6. 最初と最後の頁 1 - 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 なし
2. 論文標題 各国首脳はトランプ大統領とどう向き合うか	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 「東洋経済オンライン」 (https://toyokeizai.net/list/author/%E8%96%AC%E5%B8%AB%E5%AF%BA+%E5%85%8B%E8%A1%8C)	6. 最初と最後の頁 1 - 4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 なし
2. 論文標題 北朝鮮が「終戦宣言」の合意にこだわる理由	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 「東洋経済オンライン」 (https://toyokeizai.net/list/author/%E8%96%AC%E5%B8%AB%E5%AF%BA+%E5%85%8B%E8%A1%8C)	6. 最初と最後の頁 1 - 4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 なし
2. 論文標題 徴用工判決の「放置」は日韓関係を泥沼にする	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 「東洋経済オンライン」 (https://toyokeizai.net/list/author/%E8%96%AC%E5%B8%AB%E5%AF%BA+%E5%85%8B%E8%A1%8C)	6. 最初と最後の頁 1 - 4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 なし
2. 論文標題 政治家の「失言の歴史」にも時代が表れている	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 「東洋経済オンライン」 (https://toyokeizai.net/list/author/%E8%96%AC%E5%B8%AB%E5%AF%BA+%E5%85%8B%E8%A1%8C)	6. 最初と最後の頁 1 - 4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 なし
2. 論文標題 無責任政治により失われた「財政均衡」の正論	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 「東洋経済オンライン」 (https://toyokeizai.net/list/author/%E8%96%AC%E5%B8%AB%E5%AF%BA+%E5%85%8B%E8%A1%8C)	6. 最初と最後の頁 1 - 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 なし
2. 論文標題 文在寅大統領は「不通外交」を改めないのか	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 「東洋経済オンライン」 (https://toyokeizai.net/list/author/%E8%96%AC%E5%B8%AB%E5%AF%BA+%E5%85%8B%E8%A1%8C)	6. 最初と最後の頁 1 - 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 なし
2. 論文標題 北方領土交渉のカギ握る日ソ共同宣言の本質	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 「東洋経済オンライン」 (https://toyokeizai.net/list/author/%E8%96%AC%E5%B8%AB%E5%AF%BA+%E5%85%8B%E8%A1%8C)	6. 最初と最後の頁 1 - 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 なし
2. 論文標題 三・一運動100周年で吹き荒れる日韓「春の嵐」(2019年2月23日)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 「東洋経済オンライン」 (https://toyokeizai.net/list/author/%E8%96%AC%E5%B8%AB%E5%AF%BA+%E5%85%8B%E8%A1%8C)	6. 最初と最後の頁 1 - 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 なし
2. 論文標題 日韓はなぜ良好な関係を継続できないのか	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 「東洋経済オンライン」 (https://toyokeizai.net/list/author/%E8%96%AC%E5%B8%AB%E5%AF%BA+%E5%85%8B%E8%A1%8C)	6. 最初と最後の頁 1 - 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 M. INOUE	4. 巻 25(1)
2. 論文標題 The Japan-China Treaty of Peace and Friendship as History	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Asia-Pacific Review	6. 最初と最後の頁 75-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13439006.2018.1475708	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 王雪萍	4. 巻 第2号
2. 論文標題 中国共産党と中国政府の石橋湛山認識に関する一考察 『人民日報』、『世界知識』、中国外交部档案を基に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 石橋湛山研究	6. 最初と最後の頁 87 - 111
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 王雪萍	4. 巻 No.61
2. 論文標題 『神州学人』誌から見る中国の留学生政策の変容 「一帯一路」構想を中心に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 人文学研究所報	6. 最初と最後の頁 97 - 104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 葉師寺克行	4. 巻 1
2. 論文標題 民主主義は「権威主義の誘惑」を断ち切れるか	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東洋経済オンライン (https://toyokeizai.net/articles/-/213687)	6. 最初と最後の頁 1 - 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 葉師寺克行	4. 巻 1
2. 論文標題 安倍首相の目指すものが「改革」から「革命」へ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東洋経済オンライン (https://toyokeizai.net/articles/-/207931)	6. 最初と最後の頁 1 - 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 葉師寺克行	4. 巻 1
2. 論文標題 南北合同チーム結成に見る文大統領の身勝手	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東洋経済オンライン (https://toyokeizai.net/articles/-/205604)	6. 最初と最後の頁 1 - 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 葉師寺克行	4. 巻 1
2. 論文標題 エルサレム首都宣言でも「物言わぬ」日本外交	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東洋経済オンライン (https://toyokeizai.net/articles/-/200802)	6. 最初と最後の頁 1 - 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 葉師寺克行	4. 巻 1
2. 論文標題 習近平は鄧小平を否定し毛沢東に走っている	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東洋経済オンライン (https://toyokeizai.net/articles/-/198234)	6. 最初と最後の頁 1 - 4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 葉師寺克行	4. 巻 1
2. 論文標題 トランプはインド太平洋戦略を曲解している	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東洋経済オンライン (https://toyokeizai.net/articles/-/197307)	6. 最初と最後の頁 1 - 4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 葉師寺克行	4. 巻 1
2. 論文標題 若者の自民党支持率が高くなってきた理由	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東洋経済オンライン (https://toyokeizai.net/articles/-/195199)	6. 最初と最後の頁 1 - 4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 葉師寺克行	4. 巻 1
2. 論文標題 政党の企業化で日本の民主主義は危機状態だ	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東洋経済オンライン (https://toyokeizai.net/articles/-/191490)	6. 最初と最後の頁 1 - 5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 葉師寺克行	4. 巻 1
2. 論文標題 カンボジアの「独裁化」を看過してはならない	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東洋経済オンライン (https://toyokeizai.net/articles/-/190300)	6. 最初と最後の頁 1 - 4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 葉師寺克行	4. 巻 1
2. 論文標題 北朝鮮暴走の中、韓国は日韓関係を壊すのか	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東洋経済オンライン (https://toyokeizai.net/articles/-/182829)	6. 最初と最後の頁 1 - 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 葉師寺克行	4. 巻 1
2. 論文標題 政権を担えない民進党の「果てしない罪深さ	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東洋経済オンライン (https://toyokeizai.net/articles/-/181604)	6. 最初と最後の頁 1 - 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 1
2. 論文標題 安倍政権とトランプ政権は「民主主義」を潰す	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東洋経済オンライン (https://toyokeizai.net/articles/-/179011)	6. 最初と最後の頁 1 - 4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 1
2. 論文標題 野党は「共謀罪」審議を「政治ショー」にするな	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東洋経済オンライン (https://toyokeizai.net/articles/-/174932)	6. 最初と最後の頁 1-3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 1
2. 論文標題 国民には疑問だらけ、安倍首相の「改憲」提起	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東洋経済オンライン (https://toyokeizai.net/articles/-/171786)	6. 最初と最後の頁 1-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 1
2. 論文標題 新聞の世論調査は中立な「報道」とはいえない	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東洋経済オンライン (https://toyokeizai.net/articles/-/168892)	6. 最初と最後の頁 1-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 葉師寺克行	4. 巻 1
2. 論文標題 対北朝鮮の「敵基地攻撃論」には実効性がない	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東洋経済オンライン (https://toyokeizai.net/articles/-/166052)	6. 最初と最後の頁 1-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 葉師寺克行	4. 巻 1
2. 論文標題 外相の海外出張と専用機	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 クーリエジャポン「今月の外交ニュースの読み方」 (https://courrier.jp/columns/114361/)	6. 最初と最後の頁 1-2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 葉師寺克行	4. 巻 1
2. 論文標題 トランプ大統領の発言が示す米国の衰退	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 クーリエジャポン「今月の外交ニュースの読み方」 (https://courrier.jp/columns/110908/)	6. 最初と最後の頁 1-1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 葉師寺克行	4. 巻 1
2. 論文標題 世界はどうなる？ 国際政治を占うキーワード	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 クーリエジャポン「今月の外交ニュースの読み方」 (https://courrier.jp/columns/107542/)	6. 最初と最後の頁 1-2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 葉師寺克行	4. 巻 1
2. 論文標題 韓国の“ちくはく”外交 米国と中国のはざままで	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 クーリエジャポン「今月の外交ニュースの読み方」(https://courrier.jp/columns/104528/)	6. 最初と最後の頁 1-2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 葉師寺克行	4. 巻 1
2. 論文標題 どうなる日中関係? 日口の二の舞にならぬ戦略を	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 クーリエジャポン「今月の外交ニュースの読み方」(https://courrier.jp/columns/101863/)	6. 最初と最後の頁 1-1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 葉師寺克行	4. 巻 1
2. 論文標題 「解散・総選挙」への北朝鮮危機“活用”が危険すぎる理由	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 クーリエジャポン「今月の外交ニュースの読み方」(https://courrier.jp/columns/99150/)	6. 最初と最後の頁 1-2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 葉師寺克行	4. 巻 1
2. 論文標題 日韓関係、過去最悪へ 新たな火種として急浮上した徴用工問題	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 クーリエジャポン「今月の外交ニュースの読み方」(https://courrier.jp/columns/96435/)	6. 最初と最後の頁 1-2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 1
2. 論文標題 「米国抜き」世界経済秩序をリードするのは「日本」になるのか	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 クーリエジャポン「今月の外交ニュースの読み方」(https://courrier.jp/columns/92295/)	6. 最初と最後の頁 1-2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 1
2. 論文標題 「改革」の名のもと力を失いつつある米外交 危機は深化する	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 クーリエジャポン「今月の外交ニュースの読み方」(https://courrier.jp/columns/88820/)	6. 最初と最後の頁 1-2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 1
2. 論文標題 「国民感情」で慰安婦合意の不履行を正当化はできない	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 クーリエジャポン「今月の外交ニュースの読み方」(https://courrier.jp/columns/87130/)	6. 最初と最後の頁 1-2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 1
2. 論文標題 姿を見せはじめたトランプ外交の本質	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 クーリエジャポン「今月の外交ニュースの読み方」(https://courrier.jp/columns/84673/2/)	6. 最初と最後の頁 1-2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上正也	4. 巻 1
2. 論文標題 日本と中国	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 光田剛編『現代中国入門』筑摩書房	6. 最初と最後の頁 243 - 277
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村上友章, 井上正也	4. 巻 1
2. 論文標題 創業者・高碓達之助の生涯	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東洋製罐グループ100年史	6. 最初と最後の頁 17-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上正也	4. 巻 136
2. 論文標題 山本章子『米国と日米安保条約改定』（書評）	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 CAPS Newsletter (成蹊大学アジア太平洋研究センター)	6. 最初と最後の頁 13 - 13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上正也	4. 巻 189
2. 論文標題 ロバート・D・エルドリッチ『尖閣問題の起源』（書評）	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 国際政治	6. 最初と最後の頁 177-180
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上正也	4. 巻 (特別号)
2. 論文標題 新地町ヒアリングレポート	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 21世紀ひょうご	6. 最初と最後の頁 69 - 73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上正也	4. 巻 44
2. 論文標題 永野健二『パブル』新潮社、2016年(書評)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 外交	6. 最初と最後の頁 142-143
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上正也	4. 巻 960
2. 論文標題 外交文書公開の現状と課題	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 歴史学研究	6. 最初と最後の頁 32-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上正也	4. 巻 32
2. 論文標題 公文書管理と個人情報保護	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本歴史学協会年報	6. 最初と最後の頁 39 - 45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 王雪萍	4. 巻 52
2. 論文標題 中国の「一帯一路」構想と文化外交 国際教育交流を中心に	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 アジア文化研究所研究年報	6. 最初と最後の頁 163 - 173
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 王雪萍	4. 巻 9
2. 論文標題 戦後初期“ 中華民国政府 ” 对留日学生政策解析 遊離于救济与召回之間的政策之成敗	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 近現代国際関係史研究	6. 最初と最後の頁 39-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 王雪萍	4. 巻 10
2. 論文標題 廖承志与留日学生、華僑	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 近現代国際関係史研究	6. 最初と最後の頁 69 - 94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yakushiji, Katsuyuki	4. 巻 March 09
2. 論文標題 The Emperor Initiates an Important Conversation	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Tokyo Foundation	6. 最初と最後の頁 2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) http://www.tokyofoundation.org/en/articles/2017/imperial-abdication	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yakushiji, Katsuyuki	4. 巻 July 22
2. 論文標題 Rage in the West, Apathy in Japan Reflections on the Upper House Election	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Tokyo Foundation	6. 最初と最後の頁 2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) http://www.tokyofoundation.org/en/articles/2016/upper-house-election/?searchterm=yakushiji	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yakushiji, Katsuyuki	4. 巻 June 30
2. 論文標題 "Silver Democracy" Likely Winner in July Election	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Tokyo Foundation	6. 最初と最後の頁 2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) http://www.tokyofoundation.org/en/articles/2016/silver-democracy-election/?searchterm=yakushiji	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yakushiji, Katsuyuki	4. 巻 December 12
2. 論文標題 Why Extend the Term Limit for LDP President?	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Tokyo Foundation	6. 最初と最後の頁 2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) http://www.tokyofoundation.org/en/articles/2016/term-for-ldp-president/?searchterm=yakushiji	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 葉師寺克行	4. 巻 11.25
2. 論文標題 ・秘書官は「朴槿恵大統領と会ったことはない」と私に語った 「不通」が生み出した韓国の崩壊	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 COURRIE JAPON (講談社)	6. 最初と最後の頁 2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://courrier.jp/columns/68510/	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 3.29
2. 論文標題 “国民感情”と“法の支配”のはざまで悩む韓国	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 COURRIE JAPON (講談社)	6. 最初と最後の頁 2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://courrier.jp/columns/46670/	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 5.29
2. 論文標題 ゴールデンウィーク「外遊」の隠された意図は「中国牽制」だ	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 COURRIE JAPON (講談社)	6. 最初と最後の頁 2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://courrier.jp/columns/52495/	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 12.2
2. 論文標題 20年前にもあった日口「共同経済活動」構想の実現があまりにも困難な理由	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 COURRIE JAPON (講談社)	6. 最初と最後の頁 2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://courrier.jp/columns/71075/	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 9.26
2. 論文標題 「尖閣」の最前線に立つ海上保安庁の現実は、「海猿」とはまったく違う	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 COURRIE JAPON (講談社)	6. 最初と最後の頁 2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://courrier.jp/columns/63189/	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 4.29
2. 論文標題 「私たちの名字は『党』である」と語る中国メディア	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 COURRIE JAPON (講談社)	6. 最初と最後の頁 2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://courrier.jp/columns/50152/	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 8.3
2. 論文標題 米国議会にもいた! 「共和党のドン」オリン・ハッチ上院議員しだいでTPPIは崩壊する	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 COURRIE JAPON (講談社)	6. 最初と最後の頁 2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://courrier.jp/columns/50152/	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 7.29
2. 論文標題 かつての日本を想起させる夜郎自大な中国の論理を読み解く	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 COURRIE JAPON (講談社)	6. 最初と最後の頁 2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://courrier.jp/columns/58128/	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 6.28
2. 論文標題 トランプ級の過激発言で知られる大統領を選出したフィリピンは、米中の狭間で揺れている	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 COURRIE JAPON (講談社)	6. 最初と最後の頁 2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://courrier.jp/columns/55375/2/	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 10.27
2. 論文標題 安倍首相の父が語った「北方領土問題を妨害していたのは米国」の真意	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 COURRIE JAPON (講談社)	6. 最初と最後の頁 2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://courrier.jp/columns/55375/2/	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 1.13
2. 論文標題 「アメリカ・ファースト」と「1つの中国論」の衝突で、米中関係はどうか	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 COURRIE JAPON (講談社)	6. 最初と最後の頁 2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://courrier.jp/columns/75164/2/	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 3.2
2. 論文標題 トランプ登場で焼け太りを！ 日本の防衛族が狙う「漁夫の利」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 COURRIE JAPON (講談社)	6. 最初と最後の頁 2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://courrier.jp/columns/75164/2/	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 12.27
2. 論文標題 自民・公明「連立」に次々と亀裂が生じている 自民の「傲慢」と公明の「選挙至上主義」が激突	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 東洋経済ONLINE	6. 最初と最後の頁 4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) http://toyokeizai.net/articles/-/151430	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 2.2
2. 論文標題 天皇の「問題提起」は国会で議論されるべきだ 保守派論客は天皇が示す天皇像に否定的だが	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東洋経済ONLINE	6. 最初と最後の頁 4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) http://toyokeizai.net/articles/-/155941	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 12.2
2. 論文標題 プーチン氏「2島さえ返さない」発言の衝撃度 日口首脳会談で北方領土問題は振り出しに	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 東洋経済ONLINE	6. 最初と最後の頁 4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) http://toyokeizai.net/articles/-/150477	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 11.25
2. 論文標題 安倍外交の「成果」が次々と崩壊し始めている 会談5日後にトランプ氏は「TPP離脱」を宣言	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 東洋経済ONLINE	6. 最初と最後の頁 4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) http://toyokeizai.net/articles/-/146689	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 11.5
2. 論文標題 首相の権力基盤は党内支持から国民の支持へ 自民党総裁任期の歴史的変遷から読み解く	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 東洋経済ONLINE	6. 最初と最後の頁 4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) http://toyokeizai.net/articles/-/143301	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薬師寺克行	4. 巻 2.27
2. 論文標題 トランプ大統領と安倍首相の蜜月は続くのか 首脳会談は安保重視の伝統手法でしのいだ	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東洋経済ONLINE	6. 最初と最後の頁 4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) http://toyokeizai.net/articles/-/158911	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計27件 (うち招待講演 21件 / うち国際学会 7件)

1. 発表者名 薬師寺克行
2. 発表標題 激動する東アジア情勢
3. 学会等名 信濃毎日新聞政経懇話会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 薬師寺克行
2. 発表標題 安倍政権の直面する課題
3. 学会等名 内外情勢調査会西尾支部 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 薬師寺克行
2. 発表標題 公共政策の現在
3. 学会等名 京都大学公共政策大学院座公開講座 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 薬師寺克行
2. 発表標題 大学生とメディア
3. 学会等名 新潟日報講演（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 井上正也
2. 発表標題 戦後日中関係史の可能性
3. 学会等名 愛知大学国際問題研究所創立70周年記念LT/MT貿易関係資料出版記念会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 王雪萍
2. 発表標題 中国共産党与中国政府对石橋湛山認識演變過程之考察 以中国外交部档案、《世界知識》《人民日報》為中心
3. 学会等名 第四期国際関係史工作坊（中国長春市東北師範大学、論文参加、代読発表）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 王雪萍
2. 発表標題 廖承志と日中国交正常化前の日中関係
3. 学会等名 清華大学・中央大学共同研究講義プログラム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 王雪萍
2. 発表標題 周恩来・廖承志の対日外交と留日学生
3. 学会等名 明治大学大学院学際系総合研究A科目「留学経験と近代東アジア「学知圏」の形成」外部講師講演（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 薬師寺克行
2. 発表標題 安倍政権の直面する内外の課題と展望
3. 学会等名 内外情勢調査会・広島支部（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 薬師寺克行
2. 発表標題 安倍政権の直面する内外の課題と展望
3. 学会等名 内外情勢調査会・東葛支部（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 薬師寺克行
2. 発表標題 徴用工問題と日韓関係
3. 学会等名 日韓フォーラム（ソウル）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 薬師寺克行
2. 発表標題 安倍政権の直面する課題
3. 学会等名 長崎新聞時事問題懇談会（長崎県長崎市、佐世保市）（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 井上正也
2. 発表標題 日中平和友好条約交渉と「全方位平和外交」の再検討
3. 学会等名 講演会「外交記録から見る1970～80年代の日中関係」（外務省外交史料館）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 井上正也
2. 発表標題 日中関係改善を阻害するもの
3. 学会等名 「新時代の中日米関係」討論会（復旦大学国際問題研究院）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 井上正也
2. 発表標題 歴史としての日中国交正常化
3. 学会等名 記念中日国交正常化45周年 国際学術シンポジウム（上海国際問題研究院）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 王雪萍
2. 発表標題 中国の「一帯一路」構想と国際教育交流政策の変化：国家と個人のはざまに生きる留学生
3. 学会等名 第58回「中国人留学生史研究会」拡大例会：テーマ「中国人留学生が直面した諸問題について」（神奈川県横浜キャンパス）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 王雪萍
2. 発表標題 石橋湛山と中国の対日工作 中国外交部档案史料を中心に
3. 学会等名 石橋湛山研究学会第5回研究大会（立正大学品川キャンパス）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 王雪萍
2. 発表標題 改革開放初期の日中教育協力 東北師範大学赴日本国留学予備学校を中心に
3. 学会等名 東洋大学アジア文化研究所公開シンポジウム「中国の胎動への視座 一帯一路政策の開始に際して」（東洋大学白山キャンパス）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 薬師寺克行
2. 発表標題 冷戦後の日米同盟関係と日本政治の変容
3. 学会等名 日本政治学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 薬師寺克行
2. 発表標題 日本の安全保障政策と東アジア情勢
3. 学会等名 デルオサリオ研究所（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 薬師寺克行
2. 発表標題 安倍政権の直面する内外の課題と展望
3. 学会等名 内外情勢調査会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 薬師寺克行
2. 発表標題 現実主義に傾斜する安倍政治の実相
3. 学会等名 信濃毎日新聞セミナー（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 薬師寺克行
2. 発表標題 安倍政権の今年の課題
3. 学会等名 陽新聞時事問題懇談会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 薬師寺克行
2. 発表標題 朝鮮半島情勢と日本外交
3. 学会等名 外務省シカゴ総領事館（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 井上正也
2. 発表標題 日中平和友好条約と福田外交
3. 学会等名 国際ワークショップ「アーカイブの内と外 当代中国研究の新展開」（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 井上正也
2. 発表標題 松村謙三と日中関係
3. 学会等名 松村謙三没後45周年記念フォーラム（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 井上正也
2. 発表標題 公文書管理と個人情報保護
3. 学会等名 日本歴史学協会（史料保存利用問題シンポジウム）（招待講演）
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計9件

1. 著者名 井上正也	4. 発行年 2019年
2. 出版社 筑摩書房	5. 総ページ数 366頁（内191-218頁執筆）
3. 書名 『教養としての政治学入門』のうち「戦後日本外交入門：日中国交正常化を事例に」	

1. 著者名 薬師寺克行	4. 発行年 2018年
2. 出版社 岩波書店（岩波現代文庫）	5. 総ページ数 353
3. 書名 村山富市回顧録	

1. 著者名 華僑華人の事典編集委員会（編集委員長：吉原和男、編集幹事：芹澤知広、津田浩司、編集委員：王雪萍、杉村美紀、瀬川昌久、曾士才、谷垣真理子、三尾裕子、山本須美子）編	4. 発行年 2017年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 630
3. 書名 華僑華人の事典	

1. 著者名 薬師寺克行	4. 発行年 2016年
2. 出版社 中央公論新社	5. 総ページ数 274
3. 書名 公明党	

1. 著者名 増田弘編薬師寺克行、井上正也、増田 弘、井上寿一、楠 綾子、中島信吾、池田慎太郎、吉次公介、中島琢磨、佐藤 晋、竹内 桂、福永文夫、服部龍二、折田正樹、村上友章、宮城大蔵、佐道明広、パート・エドストローム著	4. 発行年 2016年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 460頁（内245-267頁井上正也「福田赳夫」を執筆）
3. 書名 戦後日本首相の外交思想	

1. 著者名 大矢根聡編井上正也、大矢根聡、大西裕、西山隆行、三宅康之、岡本次郎、湯川拓、富田晃正、木宮正史著	4. 発行年 2016年
2. 出版社 有斐閣	5. 総ページ数 277頁（内225-250頁井上正也「日中関係 派閥政治の変容と対外政策」を執筆）
3. 書名 FTA・TPPの政治学	

1. 著者名 阿古智子・大澤肇・王雪萍編著	4. 発行年 2017年
2. 出版社 国際書院	5. 総ページ数 306頁（内81 - 108頁王雪萍「改革・開放後中国の小学校における教育改革の理念と挫折」執筆）
3. 書名 変容する中華世界の教育とアイデンティティ	

1. 著者名 加茂具樹編王雪萍、加茂具樹、松田康博、青山瑠妙、毛利亜樹、土屋貴裕、山影 統、山口信治、マチケ ナイテ・ヴィダ、李 彦銘、俞 敏浩著	4. 発行年 2017年
2. 出版社 慶応義塾大学出版会	5. 総ページ数 228頁（内163 - 180頁王雪萍「グローバル化と中国の歴史教育の変容」を執筆）
3. 書名 中国の対外行動の源泉	

1. 著者名 中村元哉・大澤肇・久保亨編、王雪萍、中村元哉、田中仁、杜崎群傑、吉見崇、山口信治、小林亮介・大川謙作、久保亨、河野正、大澤肇、和田知久、小浜正子、大澤肇、著	4. 発行年 2016年
2. 出版社 東方書店	5. 総ページ数 237頁（内55 - 68頁王雪萍「外交史・日中関係史研究」を執筆）
3. 書名 現代中国の起源を探る 史料ハンドブック	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	井上 正也 (Inoue Masaya) (70550945)	成蹊大学・法学部・教授 (32629)	
研究分担者	王 雪萍 (Wang Xueping) (10439234)	東洋大学・社会学部・教授 (32663)	